

# 健康とくらしの調査 2022年

## 地域診断 概要 小山町

JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) は、健康長寿社会をめざした予防政策の科学的な基盤づくりを目的としています。2022年度には、全国の75市町村と共同し、約35万人の高齢者を対象にした調査を行い、全国の大学・国立研究所などの約50人の研究者が、多面的な分析を進めています。

本概要は、JAGESが実施した「健康とくらしの調査 2022」データを用い、介護予防や地域づくりに向けた地域診断の概要をまとめたものです。

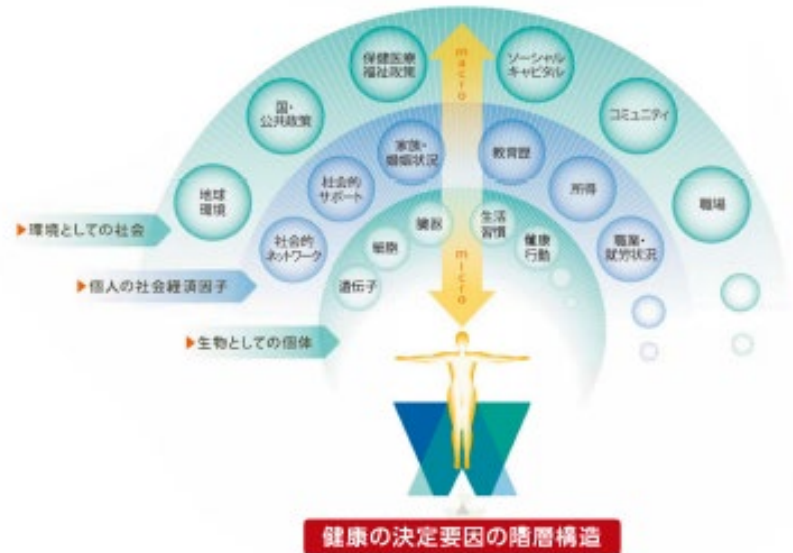
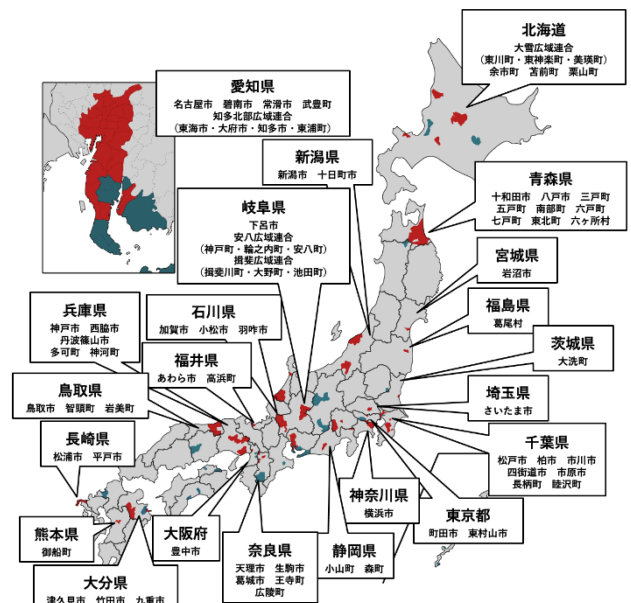


表1 健康とくらしの調査概要

対象者	一般高齢者+総合事業対象者+要支援者
実配布数	2,000人
調査期間	第1期 (2022/11/07-2022/11/28)
回収数 (率)	1,467票 (73.4%)
集計数 (率)	1,446票 (72.3%) *調査票番号切取り票を除いた
調査方法	サンプリング調査

表2 全参加自治体\_健康とくらしの調査概要

対象者	調査実施直前で65歳以上のもの
参加数	75市町村 (66保険者)
対象者数	338,242人
配布回収	郵送法、一部訪問調査
調査期間	令和4年11月7日～令和4年12月26日
回収数 (率)	227,731票 (67.3%)
調査方法	全数調査またはサンプリング調査



# 特徴・強みと課題

## 目的

他の市町村と比べた、特徴・強みや課題と思われる指標を明らかにすることを目的に比較分析をしました。

## 方法

JAGES2022年度調査では、同じ方法（調査票、郵送回収、集計方法）で全国75市町村の要介護認定を受けていない65歳以上を対象に健康状態や社会参加状況などを比較しました。

## 結果

75市町村と比較して見えてきた強みと課題は以下の通りです。

## 1. 強み指標

表3 75市町村と比較した特徴・強みの指標

指標名	今回	順位	前回	改善状況	回答者数	平均値	最小値	最大値
認知症リスク者(7点以上)割合	7.6	1	9.9	2.3	1,349	11.4	7.6	18.9
笑う者の割合	94.7	2	95.6	0.9	1,308	92.0	89.6	95.1
低所得者割合(等価所得199万円以下)	39.8	2	40.9	1.1	1,126	50.8	38.6	70.1
フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)	12.4	3	10.4	-2.0	1,354	17.0	12.0	23.1
認知機能低下者割合(基本チェックリスト)	30.1	3	31.1	1.0	1,334	34.3	29.0	42.8
ボランティア参加者(月1回以上)割合	17.5	3	16.2	-1.3	1,304	11.6	5.0	22.4
ソーシャル・キャピタル得点(連帯感_240点満点)	177.2	3	181.1	3.9	1,347	159.3	135.9	180.2
老人クラブ参加者(月1回以上)割合	12.3	3	15.5	3.2	1,314	5.4	0.6	25.1

- 75市町村の内、小山町が上位に位置する強み指標の一部を抽出しました。
- 健康関連では「認知症リスク者(7点以上)割合」「フレイルあり割合(基本チェックリスト8項目以上)」「認知機能低下者割合(基本チェックリスト)」でした。
- 社会参加・交流関連では「笑う者の割合」「ボランティア参加者(月1回以上)割合」「ソーシャル・キャピタル得点(連帯感\_240点満点)」「老人クラブ参加者(月1回以上)割合」でした。

## 2. 課題指標

表4 75市町村と比較した課題指標

指標名	今回	順位	前回	改善状況	回答者数	平均値	最小値	最大値
家からの徒歩圏内に坂や段差など、歩くのが大変なところがある者の割合	71.3	69	-	-	654	47.4	17.0	80.0
商店・施設・移動販売が徒歩圏内にある者の割合	45.2	69	55.5	10.3	661	74.6	22.1	94.3
喫煙する者の割合	11.4	62	10.0	-1.4	1,329	9.8	7.2	14.7
図書館を利用する割合	7.4	55	8.0	0.6	136	12.3	0.0	25.3
肥満(BMI25以上)者割合	24.9	50	25.9	1.0	1,309	23.2	15.9	36.3
本屋・書店を利用する割合	20.4	47	15.9	-4.5	142	27.6	5.3	43.3
手段的(看病や世話)サポート提供者割合	81.1	44	78.4	-2.7	1,298	80.9	77.6	85.7
閉じこもり者割合	4.3	41	4.1	-0.2	1,328	4.1	1.9	9.7

- 75市町村の内、小山町が下位に留まる課題指標の一部を抽出しました。
- 健康関連では「喫煙する者の割合」「肥満(BMI25以上)者割合」でした。
- 社会参加・交流関連では「手段的(看病や世話)サポート提供者割合」「閉じこもり者割合」でした。
- 建造環境関連では、「家からの徒歩圏内に坂や段差など、歩くのが大変なところがある者の割合」「商店・施設・移動販売が徒歩圏内にある者の割合」「図書館を利用する割合」「本屋・書店を利用する割合」でした。

# 特徴・強みや課題と関連する要因

## 目的

どのような要因が、特徴・強みあるいは課題と関連するのかを明らかにすることを目的に分析しました。

## 方法

JAGES2022年度調査に参加した75市町村のデータを用いて、指標との相関が強い要因を探りました。

## 結果

特徴・強みや課題と関連する要因は以下のようなものがありました。

### 1. ボランティア参加者、笑う者が多い市町村ほど、認知症リスク者が少ない

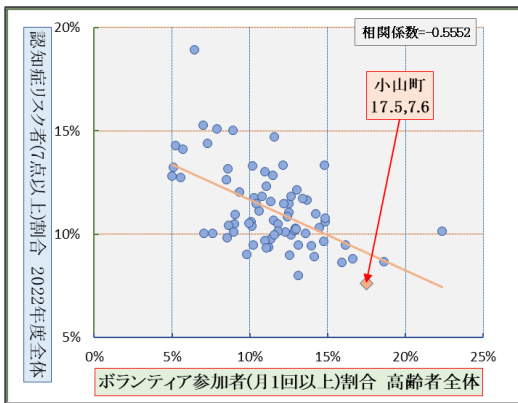


図1 認知症リスク者(7点以上)割合と、ボランティア参加者(月1回以上)割合との関連

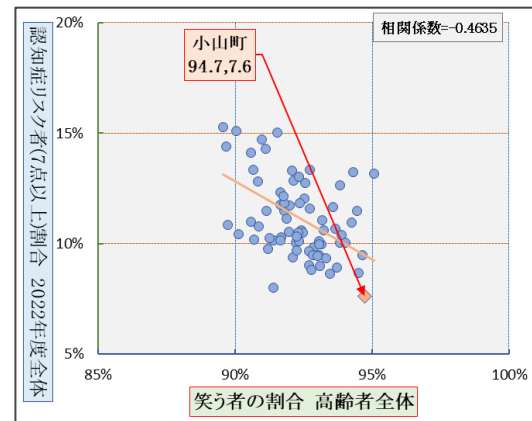


図2 認知症リスク者(7点以上)割合と、笑う者の割合との関連

- 「ボランティア参加者」「笑う者」の割合が高いことが、小山町の特徴・強みである「認知症リスク者」の割合が低い一因かもしれません。
- この強みを維持するために、引き続き「ボランティア参加者」「笑う者」を高い水準で維持することが重要と考えられます。

### 2. 喫煙する者、閉じこもり者が多い市町村ほど、肥満者が多い

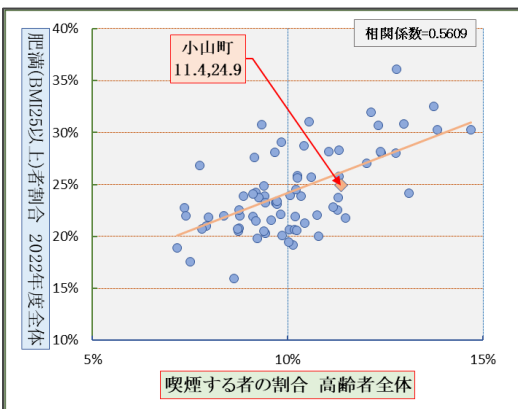


図3 肥満(BMI25以上)者割合と、喫煙する者の割合との関連

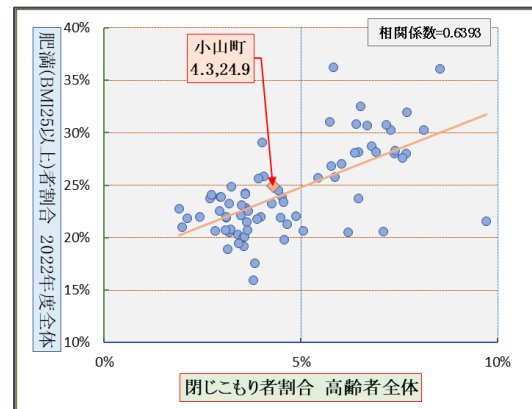


図4 肥満(BMI25以上)者割合と、閉じこもり者割合との関連

- 小山町の健康指標の課題である「肥満者割合」と「閉じこもり者割合」「喫煙する者の割合」は相互に関連していることが見られました。

### 3. ソーシャル・キャピタル(助け合い) 得点、趣味の会参加者割合が高い市町村域ほど、閉じこもり者割合が低い

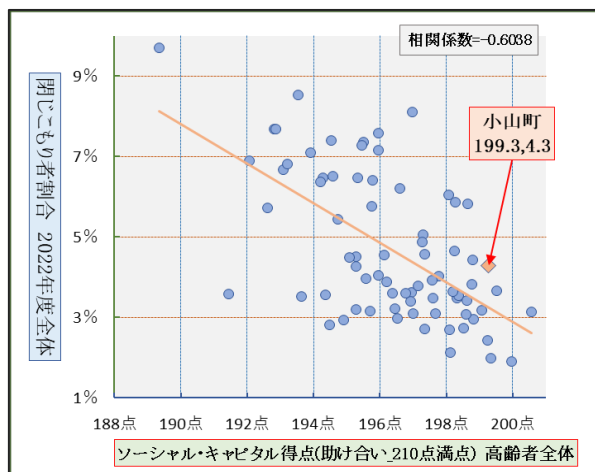


図5 閉じこもり者割合と、ソーシャル・キャピタル得点(助け合い\_210点満点) との関連

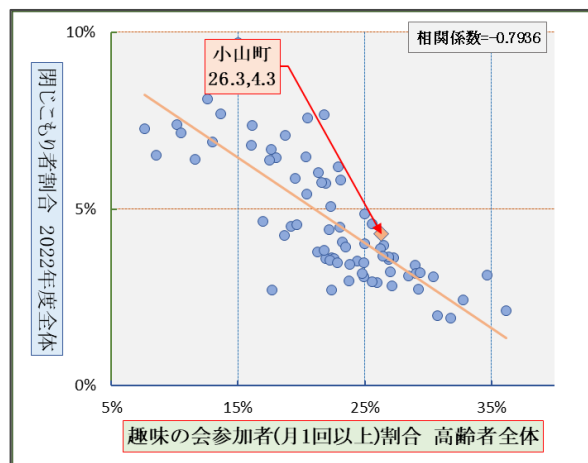


図6 閉じこもり者割合と、趣味の会参加者(月1回以上)割合 との関連

- ・ ソーシャル・キャピタル得点(助け合い) とは、情緒的サポート受領/提供(心配事や愚痴を聞いてくれる/してあげる人がいる)や手段的サポート受領(看病や世話をしてくれる人がいる)といった3つの社会的サポート指標を組み合わせたものです。
- ・ 「ソーシャル・キャピタル得点(助け合い)」「趣味の会参加割合」が高い市町村では、「閉じこもり者割合」が低いことがわかりました。

### 4. スポーツの会参加者、30分以上歩く者が多い市町村では、肥満者が少ない

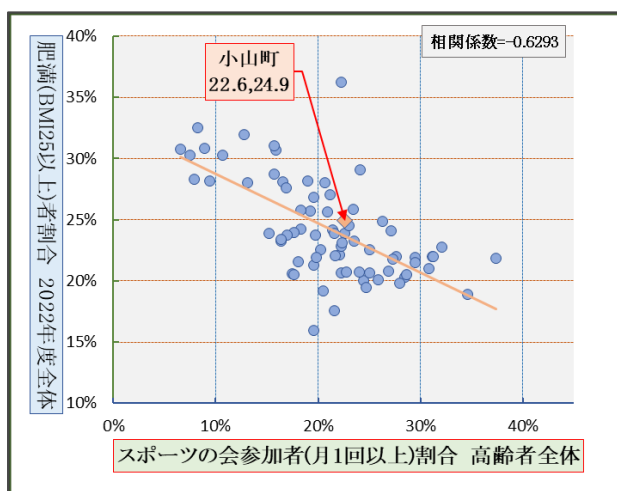


図7 肥満(BMI25以上)者割合と、スポーツの会参加者(月1回以上)割合 との関連

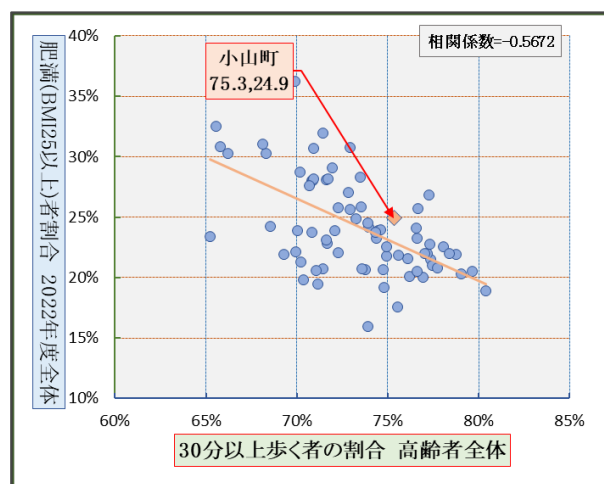


図8 肥満(BMI25以上)者割合と、30分以上歩く者の割合 との関連

- ・ 「スポーツの会参加者」「30分以上歩く者」の割合が高い市町村では、「肥満者」の割合が低いことがわかりました。
- ・ 小山町の課題では、歩くのが大変なところがある者の割合が高いことが挙げられています。歩行環境の改善とともに歩く者を増やすことで肥満者が減少する可能性があります。

# 市町村内比較から探る重点対象地域

**目的** 課題だとわかった指標について、小地域のうち、良い地域と改善の余地が大きい重点対象地域を明らかにすることを目的としました。

**方法** 自治体内小地域別データを用いて、比較しました。

**結果** 自治体内で、良い地域と改善の余地が大きな地域を比較評価した結果は以下の通りです。

## 1. 肥満者割合の小地域比較

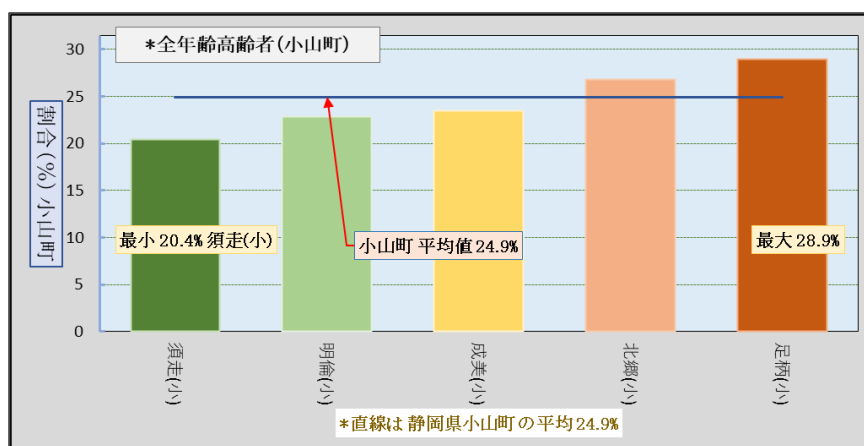


図9 肥満(BMI25以上)者割合

- 肥満者割合には、20.4~28.9%(約1.4倍)の小地域間格差がありました。
- 重点対象地域は、足柄(28.9%)でした。
- 手がかりは、須走(20.4%)にあると考えられます。

## 2. 閉じこもり者割合の小地域比較

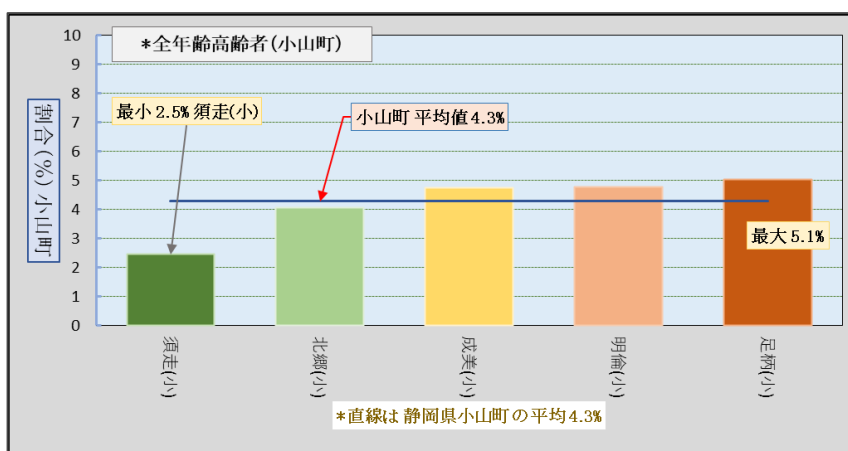


図10 閉じこもり者割合

- 閉じこもり者割合には、2.5~5.1%(約2.0倍)の小地域間格差がありました。
- 重点対象地域は、足柄(5.1%)でした。
- 手がかりは、須走(2.5%)などにあると考えられます。

# 市町村内比較から探る改善の手がかり

## 目的

多市町村間比較と相関分析で、課題であるとわかった指標と高い相関を示した社会参加・交流などの指標（p3,4参照）について、市町村内の小地域のうち、改善の余地が大きな地域と良い地域とを比較し、手がかりを得ることを目的としました。

## 方法

市町村内小地域別データを用いて、社会参加・交流指標について比較しました。

## 結果

市町村内で、重点支援すべき、改善の余地が大きな地域と、手がかりが得られそうな良い地域は、以下の通りです。

### 1. 趣味の会参加割合の重点対象地域と手がかりが得られそうな地域は？

- 趣味の会参加者割合には、23.0～28.7%(約1.3倍)の小地域間格差がありました。
- 趣味の会参加者割合が下位の重点対象地域は、成美(23.0%)でした。
- 手がかりは、上位の明倫(28.7%)にあると考えられます。

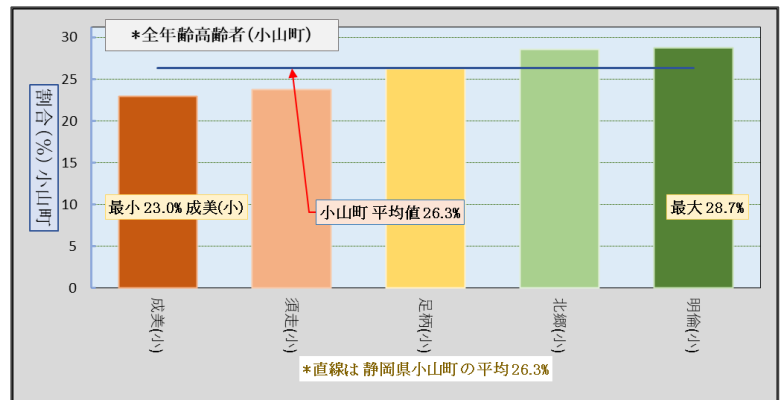


図 1 1 趣味の会参加者(月1回以上)割合

### 2. スポーツの会参加割合の重点対象地域と手がかりが得られそうな地域は？

- スポーツの会参加者割合には、20.4～24.2%(約1.2倍)の小地域間格差がありました。
- スポーツの会参加者割合が下位の重点対象地域は、足柄(20.4%)でした。
- 手がかりは、上位の明倫(24.2%)にあると考えられます。

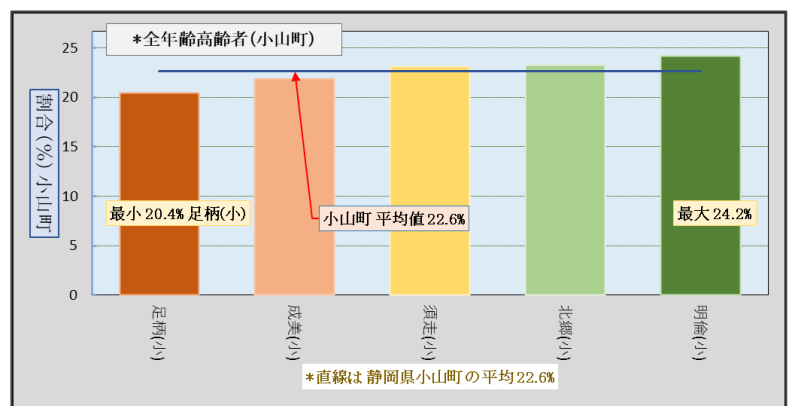


図 1 2 スポーツの会参加者(月1回以上)割合

### 3. ソーシャル・キャピタル得点(助け合い) の重点対象地域と手がかりが得られそうな地域は？

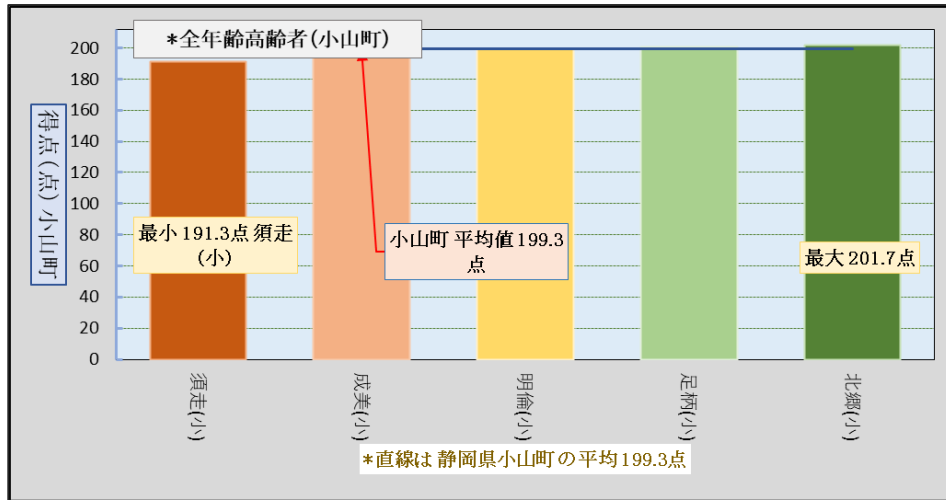


図 1 3 ソーシャル・キャピタル得点(助け合い\_210点満点)

- ・ ソーシャル・キャピタル得点(助け合い) には、191.3~201.7点(約1.1倍)の小地域間格差がありました。
- ・ ソーシャル・キャピタル得点(助け合い) が下位の重点対象地域は、須走(191.3点)でした。
- ・ 手がかりは、上位の北郷(201.7点)にあると考えられます。

### 4. グループ活動への参加意向が高い地域は？

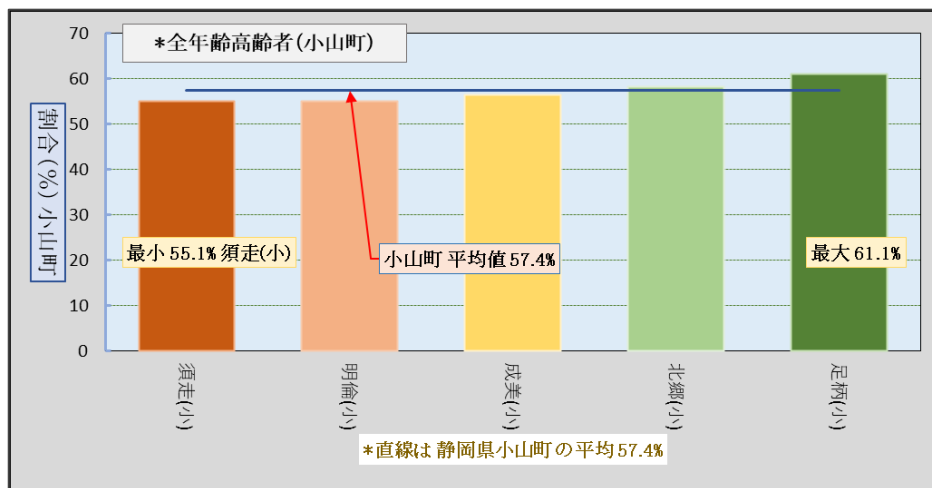


図 1 4 グループ活動へ参加意向がある者の割合

- ・ 趣味やスポーツの会参加割合が低い重点対象地域とされた成美、足柄地域でも、グループ活動への参加意向を示した者が56.5~61.1%でした。
- ・ このような人たちに集まっていただき、まちづくりの重要性ややりたいことなどを話し合ってもらえば、趣味やスポーツの会参加活動が増えることで、閉じこもり者が減少し、肥満者が少ない健康づくりを進められると期待できます。

# 小山町の地域診断 概要 2022

JAGES「健康とくらしの調査2022」に参加した75市町村を比較評価した結果、以下のことがわかりました。

## 1 市町村間比較から見る特徴・強みと課題

- 特徴・強みは「認知症リスク者(7点以上)」「低所得者割合(等価所得199万円以下)」「フレイルあり(基本チェックリスト8項目以上)」「認知機能低下者(基本チェックリスト)」の割合が低く、「笑う者」「ボランティア参加者(月1回以上)」「ソーシャル・キャピタル得点(連帯感\_240点満点)」「老人クラブ参加者(月1回以上)」の割合が高いことでした。
- 一方、課題は、「家からの徒歩圏内に坂や段差など、歩くのが大変なところがある者」の割合が高く、「商店・施設・移動販売が徒歩圏内にある者」「図書館を利用する」「本屋・書店を利用する」「手段的(看病や世話)サポート提供者」の割合が低く、「喫煙する者」「肥満(BMI25以上)者」「閉じこもり者」の割合が多いことでした。

## 2 特徴・強みや課題と関連する要因

- 小山町の特徴・強みである「認知症リスク者」の割合が低いことには、「ボランティア参加者」「笑う者」の割合が高いことが関連していることが確認できました。引き続き「ボランティア参加者」「笑う者」の割合を高い水準で維持することが望まれます。
- 小山町の課題である「閉じこもり者」「肥満者」の割合が高いことには、「趣味の会参加割合」「スポーツの会参加割合」「ソーシャル・キャピタル得点(助け合い)」が低いことが要因である可能性が確認できました。
- 「趣味の会参加者」「スポーツの会参加者」「ソーシャル・キャピタル得点(助け合い)」を増やすことで「30分以上歩く者」が増え、「閉じこもり」が減り、それらにより「肥満者」が減少する可能性が示唆されました。

## 3 市町村内比較から探る重点対象地域

- 「閉じこもり者」「肥満者」の割合が高いという健康課題について、小山町に1.4~2.0倍程度の小地域間格差がありました。
- 2つ以上の指標で重点対象地域となったのは、足柄でした。

## 4 市町村内比較から探る重点対象地域改善の手がかり

- 小山町における健康課題の克服のための手がかりは、趣味やスポーツの会参加者割合、ソーシャル・キャピタル得点(助け合い)が高い地域から得られると期待できます。
- 趣味やスポーツの会参加者とソーシャル・キャピタル得点(助け合い)のいずれも割合が低い重点対象地域は、成美、足柄、須走であり、課題解決の手がかりは明倫、北郷にあると考えられます。他にも各地域に課題と強みがありますが、背景が似通った地域から好事例となる地域を見つけ出すことで、有益な手がかりが得られる可能性が高いです。
- 重点対象地域の足柄でも、グループ活動への参加意向を示す高齢者が6割いました。働きかければ、新しい活動が立ち上がる可能性が期待できます。このような人たちに集まっただけ、まちづくりの重要性ややりたいことなどを話し合ってもらえば、趣味やスポーツの会参加活動が増えることで、閉じこもり者が減少し、肥満者が少ない健康づくりを進められると期待できます。